

No.592(一九九五年一月一・二日合併号)から  
No.624(一九九五年二月二一日)まで

No.592(一九九五年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇「護憲社会党」の旗を掲げよう

上野 建一

―「リベラル新党」阻止に全力を―  
「狂い花」

「憲法改悪」は財界の次のねらい―大企業の政治献金も再開―

読売「憲法改正試案」の問題点

加藤 晋介

―「試案」の狙いと内容②―  
悲しみを怒りに変えて

―中小・未組織、

国労闘争団に栄光・幸あれ―

◇「切り抜き」の小窓から四◇

「廃県置州」への総資本の工作

マルクス・レーニン主義の形式論理

―このような社会党をこそ―

地域から消費税反対運動つくる―一二・三

「上越地域」反消費税集会に一八〇人―

平成大不況・高齢社会元年

小竹 金次

―生活は社会主義への道①

◇読者からのおたより ◇編集部だより

No.593(一九九五年一月二一日)

◇巻頭言◇ 山川均ルネサンス

「労農派」マルクス主義、三度めの出発の年

―一九九五年を楽しい年としよう―

山花新党ようやく動き出す!―新進党の助っ人的役割か―

日本の国際貢献の道、九条を基調に

―読売「憲法改正試案」の狙いと内容③

権利総破壊で「生活苦」は必至に

―九五春闘をめぐる経済・労組の動き①

平成大不況・高齢社会元年

―生活は社会主義への道②

企業に対してもっと闘う労働組合に

―このままじゃあ、やらずぶったくり―

◇編集部だより ◇読者からのおたより

No.594(一九九五年二月二一日)

◇巻頭言◇「生きる」権利を主張する

―九五春闘を前にして―

山花・田辺の新党派を除名せよ

―新党はいずれ吸収合併される運命―

敵を見誤まっちゃいませんか

賃金、福祉、雇用「破壊」

―九五春闘をめぐる労働情勢②―

二〇二億損賠・会館立ち退き「和解」をどうみるか

資料1 二百二億・国労会館立ち退き訴訟(国労)

資料2 三団体の合意書

資料3 国労第十三回中執委決議

◇国労闘争団からの報告◇

九五年こそ解雇撤回、

JR復帰、全面勝利の年に

国労東京チューター

二十周年記念集会へのおさそい

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇全国の仲間◇ 兵庫の仲間に支援カンパを

No.595(一九九五年二月二一日)

◇巻頭言◇「救援対策本部」の皆さんご苦労さまでした

自治体選で護憲派の勝利を!

―山花新党をも直撃した大震災―

資料1 政権政党にふさわしい対応と責任はたせ(自治労)

資料2 小森氏除名には重大な決意で対処(広島・A生)

資料3 不可解な党運営、全黨員の意志統一はかれ(旭川)

「兵庫地震」救援カンパに十万余円

市民参加、住民参加の復帰と未来の街づくりを(護憲社会党)

◇兵庫の仲間から◇

「阪神大震災」に対する

ご支援のお礼とお願い

国会の地位の低下を企図

―読売「憲法改正試案」の狙いと内容④―

民主主義の破壊、選挙運動が変わる

―「改正」公選法と今後の選挙運動①

読者からのおたより

No.596(一九九五年二月二一日)

◇巻頭言◇「阪神大震災」の階級性

「ドーン」という音で突き上げられ——「阪神大震災」の周辺から①——  
愚劣きわまりない「改正試案」——現行「憲法」の学習運動にとりくもう——  
N T T 銚子無線電報 サービスセンタ —— 廃局反対の闘い  
民主主義の破壊、選挙運動が変わる —— 「改正」公選法と今後の選挙運動②  
強まるか「まるごと」移行論 —— 神戸地震、山花派、七単産を直撃——  
◇読者からのおたより —— 編集部だより

No.597(一九九五年三月一日)

◇巻頭言◇「芸術」を楽しむ

「五月新党」で一致した四単産

——自治労と日教組は丸ごと全通と全電通は山花派中心——

◇阪神大震災」の周辺から②◇

自衛隊出動が「地震Ⅱ危機管理」だって!?

全面解決へ不動産の戦略構想をもて

——国労第一六六回中央委「傍聴記」——

二〇二億損賠「取り下げ」の成果を次の闘いへ

資料国労との「和解」にはだんこ反対(JR総連)

読者からのおたより

◇兵庫の仲間から◇「阪神大震災」に対する

ご支援のお礼とお願ひ

No.598(一九九五年三月一日)

◇巻頭言◇「大競争の時代」と春闘

ムキダシの資本主義があらわれ始めた

——カネ、カネ、カネに踊り狂う経済と政治

「まるごと」が大きな傾向に——「政治休戦」のゆくえ——

統一地方選まであと一ヶ月

九五春闘・国鉄闘争勝利へ——職場・地域で体制づくりを!——

J R 北海道は早期全面解決はかれ —— 全面解決せまる二・一五新得集会開く——

レオナルド熊さんと北海道

◇兵庫からの報告◇「人」が生きていくための救援、復興を

明るく、楽しく、「元氣」を上げよう!

——管理職ユニオン第二回大会の報告——

読者からのおたより

◇新刊案内上野建一著

政界再編後を読む——護憲の旗を掲げて 社会通信社刊 千五百円◇

No.599(一九九五年三月二一日)

◇神戸アピール◇「復興」をこえて新たな「神戸」をいまこそ資料新しい神戸をつくりだす市民会議

阪神大震災の中に階級対立が見える — 護憲社会党の課題 —

◇巻頭言◇「労働組合らしさ」を求める契機になるか — 全電通は労働組合の任務を放棄世界経済恐慌への引き金か—メキシコ金融危機 — 背景と本質 —

展望なき「丸ごと新党」に労組みちづれ — 地方選の敗北後をめざす —

「政界再編後を読む—護憲の旗を掲げて」のすすめ

◇読者からのおたより◇編集部日より

◇新刊案内◇上野建一著 政界再編後を読む — 護憲の旗を掲げて 社会通信社刊

No.600(一九九五年四月一日)

◇巻頭言◇「社会通信」六百号と新刊『政界再編後を読む』

労戦再編成、国鉄「分割・民営化」そして社会党

社会党の新政強行すれば分裂必至—護憲の党を再建する実践を—

特集・「社会通信」六百号に寄す 誌上での活発な論議を

近江谷 左馬之介

事務局の皆さんご苦労さま

坂牛 哲郎

「丸ごと新党」の本質暴露を 稲村守

横堀 正一

兵庫とともに「人間復興」の確立めざせ

常松 ひろし

府中刑務所で句会十年

原 野人

「社会通信」のエネルギー

復旧活動の問題点が浮き彫りに—市民が主人公の街づくり運動を開始(兵庫)—

候補がたりない! — 県議選七三%、東京五六%の擁立数 —

「九五宣言」の凍結を求む—村山委員長への意見書—

読者からのおたより 編集部日より

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む—護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.601(一九九五年四月一日)

◇巻頭言◇「人間復興」の都市づくりめざす「新しい神戸をつくりだす

市民会議」の行動綱領五月に社会党解党・新党論に批判高まる

— 山花派、全通労組にも捨てられる

地震口実に「人権侵害」続出 — 阪神大震災「労働・雇用ホットライン」から —

松崎明氏の戦後民主主義論

「社会通信」六百号に寄す 沈黙は金に非ず、組織にとつて死

三木 信之介

歴史的転換期、切り拓く力つくれ

滝沢 隆

「弁証法」の湧出を

佐々木 守雄

組合民主主義を広げ、仲間の声を押しあげる 全通・第二回全国青年部代表者会議から

◇読者からのおたより

◇編集部日より

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む—護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.602(一九九五年四月二一日)

◇巻頭言◇「今こそ憲法の時代を開く」

五・三集会に参集を みなさんに訴える

市民の期待に応える党づくり ―私の選挙戦

臨教審「教育の生産性向上運動―教育の規制緩和がもたらすもの―

久保・社会党執行部は責任上総辞職を

―新党(リベラル)の清算なくして再建なし!―

◇そこが知たりたい

円高、ドル安の経済学①◇円はどこまであがるの

◇「社会通信」六百号に寄す◇

私の生き甲斐、健康法

裏切り共を退散させよう

驚異の六百号

問われる労働組合の存在意義

―阪神大震災下の労組の役割は?―

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む

―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

国弘 正雄(参議院議員)

鳴 哲登志

真鍋 知己

木村 哲蔵

小林 晃

No.603(一九九五年五月一・二一日合併号)

◇巻頭言◇「今こそ護憲 五・六神戸集会」を成功させよう

兵庫・神戸の仲間と連帯し、選挙勝利を

五月下旬の党大会は新党準備のため ―ゴランPKOの危険性―

神戸にホームヘルパー二千人

―「市民生活復興へ 三年計画、予算八〇億円―

いかそう!二〇二億解決、ふやそう!もう一人の仲間を

学資の思惑で進む春闘「解体」

―検証九五春闘―

資本の「物神性」の発見

―資本主義社会理解のカギ―

◇「社会通信」六百号に寄す◇

先を読む勉強と対策宗原均三

国鉄「分割・民営化」八年を検証

―「JRの安全、サービス・労働を問う」四・一シンポジウム①

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて

社会通信社刊千五百円

No.604(一九九五年五月二一日)

巻頭言◇ 護憲社会党の若木を大きく育てよう

兵庫・護憲社会党へのメッセーヂ

言葉だけが踊っている社会新党

― 日 和見を捨てて勤労大衆の期待にこたえよう―

円高のメリットがなぜ大騒ぎされないの？

― 円高、ドル安の経済学②―

「イカの一夜干し」うまいよ

ゆれる意識の背後に大きな階級の変動

― 統一地方選総括と課題①―

企業内労働運動に埋没するな

― 国鉄「分割・民営化」八年の検証②―

◇ 『社会通信』六百号に寄す◇

複雑怪奇な情勢に切り込め 岩井章

◇ 新刊案内◇

上野建一著 政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.605(一九九五年六月一日)

◇ 巻頭言◇ 兵庫県議、神戸市議選は未来をつくる

参院選で大敗すれば村山内閣は退陣か

― 山花氏等の離党組は参院選後をねらう―

資料1 情勢と当面の活動について(「護憲ネット」)

資料2 社会党臨時大会議案へのコメント(「護憲ネット」)

◇ 国録「分割・民営化」から九年めの春◇

父の頑張りをバネに頑張る藤保美香

― 統一地方選総括と課題②―

浮動票はどういう意識をもつか

― 統一地方選総括と課題②―

勝利するぞ！「争議組合・団結集会」

― 討議・運動のレベル高めたい―

◇ 投稿◇ 差別、宗教、オウム

◇ 読者からのおたより

◇ 「山びこのうた」のすすめ

◇ 新刊案内◇ 上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

No.606(一九九五年五月一日)

横堀 正一

◇巻頭言◇「新党」参加拒否宣言

「丸ごと解党」へ急傾斜した社会党大会

―「泥船・新党」と「敗北・宣言」を決める―

資料1 基本政策の歴史と運動を継承書発展(護憲懇談会)

資料2 社会党大会第一号議案への修正案

資料3 二一世紀への宣言(護憲懇談会)

私たちの護憲運動は人間宣言、市民宣言

―今こそ護憲五・六神戸全国集会「基調」

「政界再編成後を読む」(上野建一著)に寄せて

日教組「二一世紀ビジョン委員会」報告について

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著 政界再編成後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.607(一九九五年六月二一日)

◇巻頭言◇ 人間的魅力とはなにか

「護憲懇談会」への結集はじまる―護憲ネット、全面協力・支援体制―

◇全国の仲間へ◇ 反合理化闘争の今日的課題灰原茂雄

吹き荒れる合理化の嵐―国鉄闘争全国化の時期―

◇投稿◇ 一九九五年五月二七日

こんなに企業につくしてきたのに ―陸続とつづく中高年への首切り―

向坂逸郎先生と北海道 ―私の心の中の向坂先生―

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著政界再編成後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.608(一九九五年七月一日)

◇巻頭言◇ 組合大会に臨むに当たって

今「社会通信」が必要とされる時

―「社会通信名寄地区読者の会」第二回総会終わる―

事実上参院選は終盤戦―自民の独走、社会の惨敗の構図―

護憲の社会党再生を準備―社会党未決総支部が活動方針―

いよいよ「護憲社会党」づくりへ―奈良の仲間が「護憲社会党」準備のつどい―

阪神大震災、オウム・サリンから見えるもの―政府権力は「危機管理」に利用―

◇投稿◇ S君の死

◇投稿◇ 仮説住宅で人権守れるの？

読者からのおたより

◇新刊案内◇

上野建一著政界再編成後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.609(一九九五年七月一日)

◇巻頭言◇私の支える党に 塩屋崎あき江

参院選勝利と指導者の要件 —「中国最古の兵書」は生きている—

◇職場・地域から見た現状分析◇

未来には必ず栄光が

労働者、労働組合の復興のため仁

—国鉄闘争、国労の進路の中から①—

日経連がこれからの「経営戦略」を提案①

新時代の「日本的経営」 —挑戦すべき方向とその具体案

読者からのおたより

◇新刊案内◇

上野建一著 政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

No.610(一九九五年七月二一日)

◇巻頭言◇こんな地労委の命令あり!?

新党へ突出する北海道社会党 —横路新党も五星霧中—

資料新党問題に関する整理と推進計画(社会党北海道本部)

運輸省「解決案」は国鉄闘争の剣ヶ峰―労働者、労働組合の復興のために②

裁量労働制の適用「拡充」 —日経連の「新時代の『日本的経営』」②

大地震で、資本の論理がむきだしに —がんばる被災者ユニオン—

求められる労働条件の改善 —どこの職場も同じ、労働者にしわ寄せ—

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて

社会通信社刊千五百円

No.611(一九九五年八月一日)合併号)

◇巻頭言◇「転換期」現代の諸相①

リベラル新党・三極論の破産―社会党を守るための大胆な方向転換を—

展望なきリベラル新党にリ夢よ再びリ—全電通、全通も新党支持へ

大量失業時代の到来と国鉄闘争―労働者、労働組合の復興のために③—

役員解任など株主提案、マスコミは「沈黙」—JR東日本会社、株主総会から—

闘かう方針の確立めざす―私鉄総連大会に向けて—

「資本の論理」が野放しな鉄鋼職場 —活動家の高齢化が悩みの種—

企業主義克服のカギ握る被災者ユニオン―神戸大震災と地方自治、労組の課題—

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円



No.612(一九九五年八月二一日)

◇巻頭言◇ いわゆる「五五年体制」 ―その成立、変貌、動揺

社党リベラル新党書労組の介入で動く ―秋の大会は事実上の解散大会―

資料1 政治情勢と当面の活動(「護憲ネット」、九五・七・三〇)

資料2 「新党」をめぐる情勢(「護憲ネット」、九五・七・三〇)

「フツ」の国労」のままであってほしい ―第六〇回全国大会を垣間聞く―

資料3 「全面勝利解決」を勝ち取る(国労大会「特別決議」)

「無党派層」が支えた都高教の団結 ―都高教走期大会に参加して―

◇投稿◇向坂先生なら…、今の社会党「牟田公平審」を傍聴して

◇読者からのおたより◇編集部だより

最近読んだ本から ◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.613(一九九五年九月一日)

巻頭言◇ 「支持なし・無党派」層の階級的背景

新党のメドも総選挙対策も進まず ―目的のない社会党の九月大会―

連合傘下組合は日経連方針と共同歩調―労組大会前半の特徴点―

余りにも恥知らずではあるまいか―フランスの核実験について―

「論語よみの論語かたり」をめざしたい

―『資本論』第二分冊を読了して―

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

No.614(一九九五年九月一日)

◇巻頭言◇ 「ムキダシ」の資本主義の始まり①

「丸ごと新党」と「横路新党」の争い激化―護憲の社会党の守る責任重大―

社会党「解党」に労組が圧力―連合、そして二十一単産の思惑①―

◇「毎日新聞・北海道版」(九五年八月二〇日より) ◇

社会党北海道本部・各地で討論スタート

資料1 「護憲の灯絶やすな」(護憲懇談会「アピール」)

資料2 社会党の解党←新党に反対(護憲懇談会「活動方針」)

組合員から遊離ますます深化―全通全国大会の課題―

◇日教組運動方針を読んで

◇読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.615(一九九五年九月二一日)

◇巻頭言◇ 『ムキダシ』の資本主義の始まり②

一九五〇年八月二六日、電産パーヂ―会社労組脱却のために  
管理職失格宣言! ―なぜ、管理職組合か―

坂牛 哲郎

北海道だけの新党の可能性も―社会党新党、大単産の介入で混乱深まる  
積極派は自治労、全電通、電機など ―社会党「解党」に労組が圧力②

資料1 社会党中執「当面の活動計画」(要旨)

資料2 日教組大会「四単組委員長・声明」

投稿 労働者のいる所で

活動するため「解党・新党」へ?

読者からのおたより

上野建一著『政界再編後を読む』のすすめ

国鉄闘争「団結まつり」のご案内

No.616(一九九五年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 「資本の論理」と一体化した『労使十大提言』

ここまできた日教組

山田 篤

社会党は『看板の書き換え』か―呼びかけ人会議(新党準備会)は社会党だけ―

「解党・新党」方針を決定―社会党北海道大会の報告―

闘いの中で見た夢 塩屋崎あき江

◇労働者協同組合「おといねっぶ」から◇

「解雇撤回、地元JR復帰」の願いこめ自主生産

深刻化する失業問題黒崎隆雄

読者からのおたより

上野建一著『政界再編後を読む』のすすめ

◇新刊案内◇上野建一著 政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 千五百円

No.617(一九九五年一〇月二一日)

◇巻頭言◇ 「リベラル丸」操船を誤って破船か

深化する世界長期不況

坂牛 哲郎

―われわれは何をなすべきか第一部①

久保新党早くも結成予定ずれ込む ―縮小再生産でさきがけ参加せず―

資料1 「当面の活動計画」のI、III削除(護憲懇談会「修正案」)

資料2 全員投票実施を要求(護憲懇談会「特別決議案」)

資料3 新党移行反対、再建「社会党」めざす(護憲懇談会「声明」)

資料4 党内論議の保証を 三三県本部「決議案」

「規制緩和」の大合唱のなかで ―九五年度の組合大会の特徴―

◇読者からのおたより◇編集部だより

国鉄争闘勝利「団結まつり」のご案内

◇新刊案内◇上野建一著 政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 千五百円

No.618(一九九五年一〇月二一日)

◇巻頭言◇「一斉休憩」も廃止へ!

資本の有機的組成の高度化と情報革命

―深化する世界長期不況②―

県段階で「新党準備」始まる

―左派の一部も推進派に変化―

私鉄の社会党員が

「新党に行かない」署名を開始

友愛と仁義と

―ブリジストン・ファイヤストン代表の来日をめぐって―

◇資料と無説◇

連合第四回大会「運動方針案」

◇読者からのおたより

◇「社会通信」拡大のお願い

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

No.619(一九九五年一月一日)

◇巻頭言◇十一月二日「いま、めざそう『護憲の党』集会」に参加しよう

「敗北主義集団」の丸ごと新党加速

―「護憲懇談会」を批判する「新党推進・自称左派」―

◇資料と解説◇「護憲ネット」と「護憲懇談会」が一体化へ

資料護憲ネット「全国代表者会議」議案(九五・十・十回)

パブル崩壊下、あえぐユニオン連合 ―中小と大手の亀裂は拡大へ―

◇国労帯広口争団からの報告◇国鉄闘争への熱い想いを交流

「政界再編後を誌む」(上野建一著)のすすめ

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著 政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて社 千五百円

No.620(一九九五年一月二一日)

◇巻頭言◇ 完全に破綻した国鉄「分割・民営化」

「単独新党」論急浮上―社会党久保推進派追い詰められる―

労働者のたたかいをどうするか坂牛哲郎

―我らは何をなすべきか変革主体の形式①―

空の安全は大丈夫?―アルバイトスチュワーデスの問題点―

◇投稿◇向坂逸郎先生の思い出富山実

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 千五百円

No.621(一九九五年二月二日)

◇巻頭言◇ 正しい理論なくして、正しい実践はない  
変革主体形成のために

坂牛 哲郎

―われら何をなすべきか第二部の②―

日米首脳会談は沖縄県民逆撫で―日米安保の重要性と基地強化をうたう

◇「いま、『議案の党』の再建を―

十一・二集会報告◇懇談会に「護憲の社会党再建準備委」を設置

日米地位協定見直しを訴える

日経連「新時代の「日本の経営」を斬る①―労資慣行の全面的改悪を企図―

◇読者からのおたより◇政治短信

◇編集部だより

◇新刊案内◇上野建一著

政 界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊千五百円

No.622(一九九五年二月一日)

◇巻頭言◇ 労働組合と政党の関係について

党員の良心は健在なり―各地の討論ひろがる―

久保派、村山派「リベラル新党」対立激化

アメリカ労働組合再生のたたかい―新たな戦闘性の芽ばえ―

安保条約廃棄・日米地位協定粉砕が「沖縄の心」

―十一・二集会での新垣洋子氏の提起から

健康に留意し、勝つまでたたかおう―長崎・佐世保闘争団の仲間と交流して―

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて社会通信社刊千五百円

No.623(一九九五年二月一日)

◇巻頭言◇ 社会黨員よ最悪の「単独新党」を軸に綱引き

―社党。新党準備会は、十二月結成をめざすが、不発か―

労働者のたたかいをどうつくるのか―変革主体の形成③―

労働運動はかつてない試練に直面―日経連「新時代の

『日本の経営』を斬る②―

◇資料と解説◇三井金属等が「ベア廃止」提案

資料「ベア廃止」提案は時代のすう勢(日経連)

◇投稿◇連合の轍を踏んではいけない

北海道の仲間は「護憲の社会党」に愛着―リベラル新党なんてとんでもない―

読者からのおたより

編集部から二つのお願い

◇新刊案内◇上野建一著政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 千五百円

No.624(一九九五年二月二日)

◇巻頭言◇私の読書 三浦輝雄

実践的総括は完了、次は理論的総括―ソ連・東欧社会主義の崩壊から学ぶもの  
労働力再編成で反撃の条件は拡大―変革主体の形成のために坂牛哲郎―

「一月新党」へ浮遊する社会党―党名は「民主党」が有力―

荒れるアメリカ、株価はバブル状況―五千ドル相場はいつ破壊―

「合理化」すすむ郵政職場

さらなる団結を誓う!―牟田闘争勝利八周年集会で―

投稿◇私は貝にならない

読者からのおたより

◇新刊案内◇上野建一著

政界再編後を読む―護憲の旗を掲げて 社会通信社刊 千五百円